

株主の皆さまへ

第153期 報告書

平成27年4月1日 ▷ 平成28年3月31日



住友大阪セメント株式会社

証券コード:5232

休土・投具家の百さまべ
事業別概況3
連結財務諸表5
特集7
TOPICS ·····8
会社概要9
株式の状況10

株主・投資家の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。 ここに当社グループの第153期(平成27年4月1日から平成 28年3月31日まで)の業績の概況等につきまして、ご報告申 し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援と ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

取締役社長関根稿一

売上層

234,192 百万円

前期比347百万円(0.1%)減

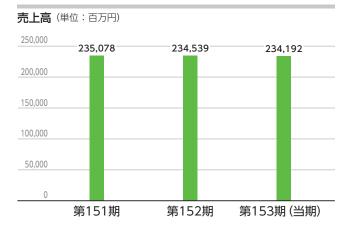


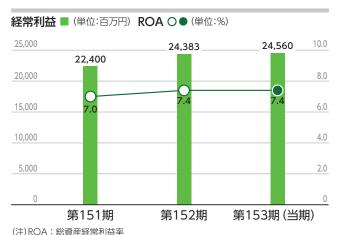
経常利益

24,560 百万円 前期比176百万円(0.7%)增



連結業績の推移





第153期の経済情勢

当期におけるわが国経済は、政府の経済対策等の効果を背景に緩やかな回復基調にあったものの、中国をはじめとするアジア新興国等の景気下振れ懸念により、先行きに不透明な状況が続きました。

セメント業界におきましては、公共投資が前年を下回ったことに加え、建築の工法変化等の影響もあり、官公需、民需ともに減少したことから、セメント国内需要は、前期を6.3%下回る42,668千トンとなりました。一方、輸出は、前期を12.3%上回りました。この結果、輸出分を含めた国内メーカーの総販売数量は、前期を2.8%下回る52.930千トンとなりました。

このような情勢の中で、当社グループは、セメント をはじめとする各種製品の安定供給を推進するとと もに、持続的発展のため、グループを挙げてコスト削 減等に取り組みました。

第153期の業績

以上の結果、当期の売上高は、セメント事業において減収となったものの、建材、光電子、新材料およびその他事業において増収となったことなどから、前期並みの234,192百万円となりました。損益につきましては、セメント事業等で増益となったことから、経常利益は、24,560百万円と前期に比べ176百万円の増益となり、また、親会社株主に帰属する当期純利益は、16,110百万円と前期に比べ2,772百万円の増益となりました。

第154期の見通し

今後のわが国経済は、引き続きアジア新興国等の景気の下振れリスクが存在するものの、政府の経済対策等を背景に、緩やかな回復基調が続くものと思われます。

セメント業界におきましては、公共投資の減少等により、官公需は、減少することが見込まれるものの、民間投資の増加等により、民需は、増加することが予想されることから、内需は、ほぼ横這いで推移するものと思われます。

当社グループは、このような情勢のもと、セメント事業におきましては、国内においては、需要の変動に対応した柔軟な生産・販売・物流体制の確立により、高品質な製品を安定的に供給するとともに、販売価格の適正化に努めてまいります。また、海外においては、成長が見込まれる地域への進出を今後も検討してまいります。その他の事業におきましては、経営資源の重点的な配分等、事業規模の拡大および収益の向上のための諸施策を推進してまいります。

さらには、コンプライアンスの徹底を引き続き推進 するとともに、リサイクル原燃料の活用等を通じ、当社 グループにとって社会的使命である循環型社会構築 への貢献および環境負荷の低減に、今後とも継続的に 取り組んでいく所存であります。

Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd. 2



販売数量が前期を下回った ことから、売上高は、180,154 百万円と前期に比べ2,715 百万円の減収となったもの の、営業利益は、生産コスト 等の削減などにより、 16,516百万円と前期に比 べ648百万円の増益となり ました。 | 売上高 (単位:百万円) | 空業利益 (単位:百万円) | 200,000 | 20,000 | 182,870 | 180,154 | 15,868 | 16,516 | 150,000 | 10,000 | 10,000 | 50,000 | 5,000 | 5,000 | 6 | 15,2期 第153期(当期) | 第152期 第153期(当期)



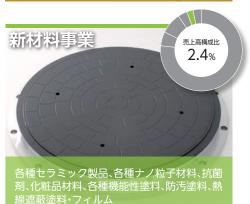
骨材および石灰石の販売 数量が減少したことなどから、売上高は、12,798百万円 と前期に比べ744百万円の 減収となったものの、営業利 益は、採掘コストが改善した ことなどから、2,250百万円 と前期に比べ169百万円の 増益となりました。





地盤改良工事が増加したことから、売上高は、19,705百万円と前期に比べ1,165百万円の増収となり、営業利益は、1,648百万円と前期に比べ375百万円の増益となりました。

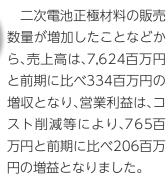






新伝送方式用光通信部品の販売数量が増加したことなどから、売上高は、8,364百万円と前期に比べ1,093百万円の増収となったものの、営業利益は、生産コストが増加したことなどから、1,090百万円と前期に比べ259百万円の減益となりました。

半導体製造装置向け電子 材料および化粧品材料等の 販売数量が増加したことか ら、売上高は、5,544百万円 と前期に比べ519百万円の 増収となり、営業利益は、 1,333百万円と前期に比べ 218百万円の増益となりま した。



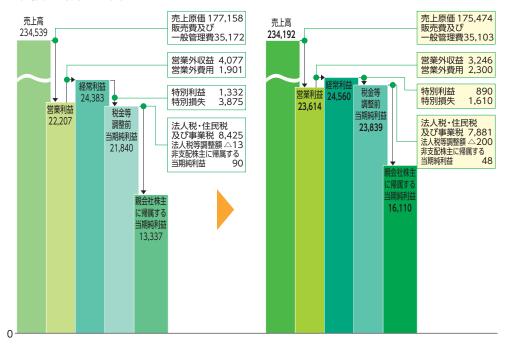






3 Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd. 4

連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



当期 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

売上高

セメント事業において減収となったものの、建材、 光電子、新材料およびその他事業において増収と なったことなどから、前期並みの234.192百万円と なりました。

経常利益・

親会社株主に帰属する当期純利益

セメント事業等で増益となったことから、経常利 益は、24,560百万円と前期に比べ176百万円の増益 となり、また、親会社株主に帰属する当期純利益は、 16,110百万円と前期に比べ2,772百万円の増益と なりました。

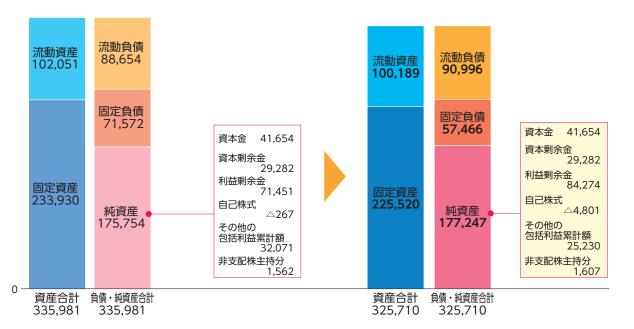
特別利益

当期の特別利益は、固定資産売却益637百万円等 です。

特別損失

当期の特別損失は、固定資産除却損1.395百万円 等です。

連結貸借対照表の概要(単位・百万円)



当期 (平成28年3月31日現在) 流動資産 流動資産は、1.862百万円減少しました。これは、受取手形及び売

固定資産

負債合計

純資産

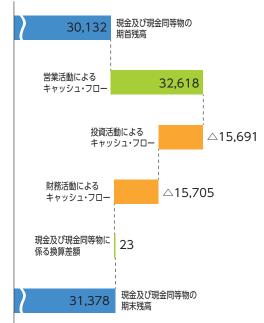
掛金が2.114百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、8.409百万円減少しました。これは、上場株式の株価下落等 により、投資有価証券が9.949百万円減少したことなどによるものです。

負債は、11.764百万円減少しました。これは、借入金が7.817百万円減 少したことに加え、投資有価証券の含み益が減少したことなどにより、繰 延税金負債が4.187百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、1.492百万円増加しました。これは、自己株式の買付により 自己株式が4.533百万円増加したことに加え、投資有価証券の減少等に 伴い、その他の包括利益累計額が6.840百万円減少したものの、利益剰余 金が12.822百万円増加したことなどによるものです。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要(単位:百万円)



当期 (平成27年4月1日~平成28年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー(以下 「CFI)は、税金等調整前当期純利益23.839百 万円、減価償却費16.885百万円等です。

投資活動によるCFは、設備投資による支出 17.680百万円等です。

財務活動によるCFは、借入金の増減額、配 当金支払い等です。

詳しい財務情報に ついては当社IRサイト http://www.soc.co.jp/ir/ でご覧ください。 住友大阪セメント IR

アクセス!

5 Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.

セメントの力で 自然災害に 強い国へ

近年、地震、津波、台風、高潮などの自然災害が頻発していますが、ダムや防波堤・防潮堤など、セメントを原料としたコンクリート構造物によって守られる命や地域も多くあります。セメントの力で今後起こる可能性のある自然災害から人命や財産を守り、減災・防災対策に貢献していきたいと考えています。

自然災害のうち、特に地震・津波については、阪神・淡路大震災や東日本大震災を教訓に、減災・防災に対する取り組みが行われています。具体的な取り組みとして、

河川や海からの浸水を防ぐ堤防および防潮堤、ダム、高台の設置、地盤改良などがあります。これらすべてにセメントが必要不可欠です。

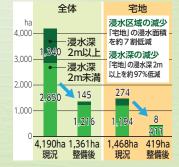
現在、静岡県では、甚大な津波被害が想定される南海トラフ大地震に備え、約17.5kmの浜松市沿岸域防潮堤整備がCSG(Cemented Sand and Gravel)工法を用いて進められています。この防潮堤の原料として、当社のセメントが使用されております。

防潮堤の基本構造



CSG(Cemented Sand and Gravel) 工法の特徴

- 1. 覆土により海岸防災林の再生が可能なため、現地の自然環境に調和した景観である。
- 2. 津波が越流しても、築堤材料が洗掘されにくく、粘り強い構造である。
- 3. ブルドーザー・振動ローラーなど の汎用的な建設機械での作業とな るため、従来の防潮堤工事に比べ て、大幅な施工の合理化および工 期の短縮が図れる。



浜松市沿岸域防潮堤~篠原2工区の築堤~

防潮堤整備による被害軽減効果

栃木工場にて 災害廃棄物受け入れ処理

(鬼怒川堤防決壊)

当社の栃木工場(栃木県佐野市)は、多くの産業が集積する北関東に立地し、東日本広域にセメントを供給しています。その立地条件を活かし、積極的に廃棄物・副産物をリサイクル原燃料として受け入れ、地域の循環型社会構築に貢献しています。

平成27年9月の関東・東北豪雨で鬼怒川堤防が決壊し、 大きな被害が発生した茨城県常総市で、水につかった米 (約1,400トン)と廃畳(約150トン)を、栃木工場で災害廃 棄物として受け入れました。

これからも、セメントという建設資材の安定供給だけで なく、災害廃棄物処理を通じて被災地の早期復旧・復興 に貢献していきます。



栃木工場外観

リサイクル原燃料の処理の様子

ダイバーシティ推進グループ新設

女性活躍推進法の施行等に伴い、女性をはじめ多様な人材がいきいきと働ける企業を目指し、平成28年4月1日付で人事部内にダイバーシティ推進グループを設置しました。

今後は、ダイバーシティ推進グループを中心に、女性 の活躍推進に注力するとともに、社員一人ひとりが最大 限能力を発揮できるような環境の整備に取り組んでい きます。

一般事業主行動計画の内容 女性活躍推進(総合職)行動計画

1計画期間

平成28年4月1日~平成33年3月31日

- ②目標および取組内容
- (i)新卒採用数(総合職)に占める女性の割合は、20%を目標とする。
- (ii) 女性管理職数は、平成33年3月31日まで に平成28年3月31日在籍数の2倍を目 標とする。



ダイバーシティ推進グループのメンバー

会社概要(平成28年3月31日現在)

商号	住友大阪セメント株式会社 Sumitomo Osaka Cement Co.,Ltd.
設立年月日	明治40年11月29日
資本金	416億円
従業員数	1,161名
主な事業所	
本社	〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
支店	札幌支店
	東北支店
	東京支店
	北陸支店
	名古屋支店
	大阪支店
	四国支店
	広島支店

	福岡支店
セメント工場	栃木工場
	岐阜工場
	赤穂工場
	高知工場
	八戸セメント株式会社
石灰石事業所	山□事業所
	小倉事業所
研究所	新規技術研究所
	セメント・コンクリート研究所
海外拠点	SOC AMERICA INC.(米国ニュージャージー州)
	香港事務所(中国香港特別行政区)
	住龍納米技術材料 (深圳) 有限公司 (中国広東省)
	東莞住創光電子技術有限公司(中国広東省)
	SOC VIETNAM CO., LTD. (ベトナムフンイエン省)

役員および執行役員(平成28年6月29日現在)

取締	役	社	長	関	根	福	_	常務
取締役執	行役	員副社	提	菅		雄	志	執
取締役割	常務執	执行役	貴	向	井	克	治	執
取締役常	常務執	执行役	党員	吉	冨		功	執
取締役常	常務執	执行役	貴	Ш	本	繁	実	執
取締役割	常務朝	执行役	員	大	西	利	彦	執
取	締		役	齊	\blacksquare	國ス	息	執
取	締		役	渡	邊		明	執
監査	设(:	常勤))	関	根	章	雄	執
監査	受(:	常勤))	伊	藤		要	執
監	査		役	友	澤	史	紀	執
監	查		役	保	坂	庄	司	執
監	査		役	鈴	木	和	男	

常	務執	行 役	員	藤	原	康	生
執	行	役	員	榊	原	弘	幸
執	行	役	員	小	木	亮	_
執	行	役	員	野々	マ村	智	範
執	行	役	員	諸	橋	央	典
執	行	役	員	今	井	俊	雄
執	行	役	員	大	嶋	信え	大郎
±4							
執	行	役	員	小八	兀	幹	郎
執執	行 行	役役	員員	 青	西木	幹 秀	郎 起
執	行	役	員	青	木	秀	起
執執	行行	役	員員	青内	木村	秀典	起文

- (注) 1. ※印表示は、代表取締役を示します。
- 2. 取締役のうち齊田國太郎および渡邊 明の両氏は、社外取締役であります。
- 3. 監査役のうち友澤史紀、保坂庄司および鈴木和男の3氏は、社外監査役であります。

株式の状況

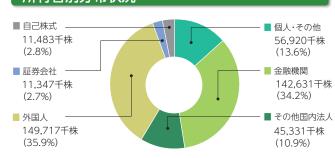
1,470,130,000株 発行可能株式総数 発行済株式総数 417,432,175株 (うち自己株式11,483,542株) 株主数 29,620名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	34,920	8.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	24,646	6.1
THE BANK OF NEW YORK, NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	9,152	2.3
住友生命保険相互会社	8,520	2.1
野村信託銀行株式会社(投信口)	8,058	2.0
株式会社三井住友銀行	7,763	1.9
住友商事株式会社	7,185	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	6,381	1.6
STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST, BOSTON SSBTC A/C UK LONDON BRANCH CLIENTS-UNITED KINGDOM	6,380	1.6
MSCO CUSTOMER SECURITIES	6,176	1.5

- (注) 1. 当社は、自己株式11,483,542株を保有しておりますが、上記の大株主から 除外しております。
- 2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を除いた数に基づき、算出して おります。

所有者別分布状況



IRカレンダー

平成29年3月期				
平成28年	8月	第1四半期決算発表		
	11月	第2四半期決算発表		
	12月	第154期中間報告書発送		

株式のご案内

事 業 年 度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基 準 日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 ※その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告の方法	電子公告 (公告掲載アドレス http://www.soc.co.jp/frame08.html) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、東京都にお いて発行する日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 および特別口座の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事 務 取 扱 場 所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120 (782) 031
(インターネットホームページ)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場金融商品取引所	東京証券取引所
単元株式数	1,000株

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手 続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先までご連絡くだ さい。

高い生産性を誇る当社最大の石灰石鉱山、秋芳鉱山

山口県の秋芳鉱山は、埋蔵量70億トン、可採鉱量40億トンの国内屈指の規模を誇る当社最大の石灰石鉱山です。カルスト台地として世界的に有名な秋吉台の西側に位置し、国内・海外のユーザーから高い評価を得ている良質の石灰石資源を供給しています。

採掘には、180トン積ダンプトラックなど国内最大級の重機を駆使し、 生産性の向上と省力化に効果をあげています。

採掘された石灰石は、山元プラントで用途やサイズにより仕分け・貯蔵ののち、総延長16.5kmの長距離ベルトコンベアで運ばれ、仙崎港内の港頭プラントにおいて自社専用バースから24時間体制で船積し、出荷されています。

生産・貯蔵・出荷の管理を少数人員で行うなど、高い生産性を実現しており、自社鉱山を多数保有している当社の中でも、規模・品質・生産性すべてにおいて高い競争力を有しています。



周辺の観光スポット

金子みすゞ記念館

仙崎に生まれ、童話・童謡が隆盛を極めた大正時代を背景に活躍し、西條八十に「若き童謡詩人の巨星」と賞賛されながらも26歳でこの世を去った金子みすゞ。その生誕100年に当たる平成15年、彼女が幼少期を過ごした金子文英堂跡地に開館した「金子みすゞ記念館」には、遺稿集や着物などの遺品が展示され、彼女の足跡をたどることができます。





海外引揚げ上陸跡地

昭和20年、太平洋戦争の終戦後、外地にいた600万人以上の日本人の帰国のため、各地に引揚げ港が選定されました。そのひとつとして仙崎港は、昭和21年末までの約1年間、引揚げの混乱の中で軍人・民間人約41万人を迎え、日本三大引揚げ港のひとつとなりました。

表紙の写真

空から見た山口県・秋芳鉱山。



住友大阪セメント株式会社

〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28 Tel. 03(5211)4500(代表)





